令和５年11月吉日

関係者各位

四国老人福祉学会
学会長　大原　昌樹
（綾川町国民健康保険陶病院院長）
四国老人福祉学会第 42 回大会
大会長　釜野　鉄平
（聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授）

四国老人福祉学会第 42 回大会の開催について（ご案内）

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、四国の高齢者問題に関する研究と実践を推進し、会員相互の連携を図ることにより、地域に根差した高齢者福祉の向上に寄与することを目的とし、「明日へ向けて、高齢者の福祉や医療のあり方を考える」をメインテーマに第 42 回大会を下記のとおり開催する運びとなりました。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせのうえご出席賜りますようお願い申し上げます。

今回は特別講演に社会福祉法人美瑛慈光会前理事長の安倍信一先生をお招きし、『気が付けば「地域包括ケア」へと続く道だった―町と法人、住民たちとの協働による地域サテライトケアの実践―』と題しましてご講演をいただきます。

また、メインテーマに基づくパネルディスカッションでは、福祉、医療、教育の方々からご意見を頂戴し、議論を深めたいと考えています。

四国が先駆けとなり、日本の高齢者福祉の明るい未来のきっかけになれば幸いです。福祉を学んでいる方から現場で実践されている方のお一人でも多い参加をお待ちいたしております。

記

会　　期　2024（令和 6）年 3 月 2 日（土）12：30～17：00（終了後に総会予定）

会　　場　聖カタリナ大学市駅キャンパス
〒790-0022　愛媛県松山市永代町 10 番地 1

主　　催　四国老人福祉学会

開催方式　会場での対面開催
※新型コロナウイルス感染状況により、Web 方式になる場合があります。
その際は、ホームページや参加登録者宛にメールで連絡いたします。

参加申込　2024（令和 6）年 2 月 2 日（金）締め切り
・URL または QR コードから申込フォームへアクセスしてください。
申込フォームアドレス：　https://forms.office.com/r/56YeGQdvUF
※発表希望者は申し込み手順を 3 頁または申込フォームで確認してください
・FAX で申し込みをされる方は、本案内 6 頁または学会ホームページより書式を印刷して、次の番号宛に送信をしてください。FAX：089-993-0900

以上

【問い合わせ先】
大会事務局　〒799-2496　愛媛県松山市北条 660
聖カタリナ大学人間健康福祉学部（担当：秋山、小木曽）
TEL　089-993-0702　　FAX　089-993-0900
Email　akiyama@catherine.ac.jp

四国老人福祉学会第 42 回大会【プログラム等概要】

１．メインテーマ

「明日へ向けて、高齢者の福祉や医療のあり方を考える」

２．開催趣旨

厚生労働省で進められている地域包括ケアシステムは、2025（令和７）年度の具現化を目度としています。そこに向けて自治体では、医療計画や地域における医療及び介護の総合的な確保のための事業の実施に関する計画と、介護保険事業(支援)計画とを整合性を持たせた形で作成することで、医療と介護の総合的な確保についての体制整備を進めています。

しかし、システムが標榜する住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制の具現化には、まだまだ取り組むべき課題が山積しているといえるでしょう。同システムの目指す「高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続ける」ことのできる体制整備は理想的な目標ではありますが、地域性によってアプローチ手法が異なるため、容易に達成できるものではないからです。介護保険法で取り組まれている生活支援体制整備事業の実践などから、担い手としての住民参加や生活の充実に関する取り組みの必要性は認知されつつありますが、フォーマルだけでなくインフォーマルな社会資源も含めた体制整備のために、福祉・医療実践現場では試行錯誤が繰り返されています。

このように、高齢者のよりよい生活の具現化のために多領域・多機関による横のつながりを模索する現状において、本大会は 2 年後に限らずその先を視野に入れた「明日に向けて」、福祉や医療領域での現状や課題、先駆的な取り組みなどについて、多角的な視点から考え共有できる場にすることを目的としたいと考えています。

３．プログラム

12：30～12：45
　開会式　　大会長挨拶　釜野　鉄平（聖カタリナ大学人間健康福祉学部）
　　学会長挨拶　大原　昌樹（綾川町国民健康保険陶病院）

12：45～14：00
　基調講演　『気が付けば「地域包括ケア」へと続く道だった』
　　－町と法人、住民たちとの協働による地域サテライトケアの実践―
　　安倍　信一氏（社会福祉法人　美瑛慈光会　前理事長）
14：00～14：10　休憩
14：10～15：40
　パネルディスカッション『明日へ向けて、高齢者の福祉や医療のあり方　パートⅡ』
　　司　　会　　大原　昌樹　（綾川町国民健康保険陶病院院長）
　　オブザーバー　　安倍　信一氏（社会福祉法人美瑛慈光会　前理事長）
　　①「福祉領域から」大塚　忠廣　（社会福祉法人蓬莱会　理事長）
　　②「医療領域から」小松　雅理　（社会医療法人仁生会
　　介護老人保健施設　あうん高知　副施設長）
　　③「教育領域から」釜野　鉄平　（聖カタリナ大学人間健康福祉学部
　　社会福祉学科　教授）
15：40～15：50　休憩
15：50～16：50　事例発表等
16：50～17：00　閉会式　次期開催県挨拶
17：00～17：20　総会　※学会員のみ

４．現場での取り組み・事例発表・研究発表等　申し込み方法

●手順①

URL または QR コードから申込フォームへアクセスして、**設問７で「発表を希望」を選択**してください。

申込フォームアドレス：https://forms.office.com/r/56YeGQdvUF

・大会参加の**申し込み締め切りは 2024（令和 6）年 2 月 2 日（金）**です。

●手順②

申し込みフォームへの入力を終えた方は、下記のアドレスまでメールで以下の要領に沿ってお申し込みください。

Email：akiyama@catherine.ac.jp

１）件名を「四国老人福祉学会大会発表申込」とする。

２）「名前と所属、発表タイトル(仮でもよい)」を本文に記載して送信する。

※タイトル（仮でもよい）及び概要について可能な範囲で本文中に記載していただけますと、当日プログラムの作成がスムーズになります。

・申込者のアドレス宛に学会大会事務局より返信しますので申込フォームで入力したアドレスから送信をしてください。
・申し込み受付後に抄録原稿の様式についてメールでお知らせいたします。
・発表者の**原稿提出締め切り：2024（令和 6）年 2 月 9 日（金）**

※こちらで知り得た情報については、当大会を円滑に行うためのものに使用し、許可なく第三者に提供することは致しません。

●発表時間等

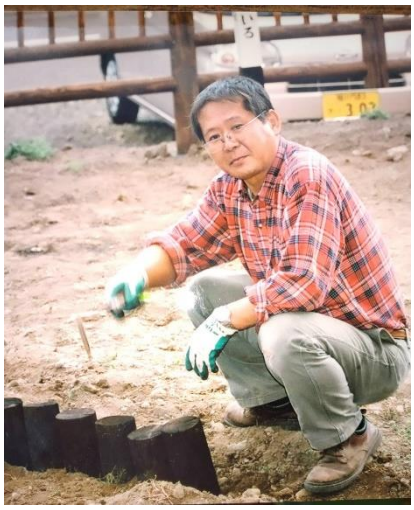
発表時間は発表が 15 分、質疑応答が５分となります。

【事例研究等申し込み】
大会事務局　〒799-2496　愛媛県松山市北条 660
聖カタリナ大学人間健康福祉学部(担当:秋山、小木曽)
TEL　089-993-0702　　FAX　089-993-0900
Email　akiyama@catherine.ac.jp

５．基調講演講師プロフィール

社会福祉法人　美瑛慈光会　前理事長

安倍　信一　氏



愛媛県周桑郡丹原町（現西条市丹原）生まれ。

昭和 52 年東洋大学社会学部を卒業後、開設準備中だった特養ホーム『美瑛慈光園』に就職。施設開設時より事務室の一角を書棚で囲ってベッドを置き、2 年近く『住み込み』で働いていたことから入所者第 1 号を自称、職員たちからは『生きた化石』と言われている。

特養での相談員としての勤務歴が長いが、介護保険制度施行時よりケアマネジャー（居宅管理者）として在宅を担当。このとき認知症高齢者たちを支える在宅サービスの弱さを思い知ることになり、平成 13 年、特養の施設長（法人常務理事）に就任するやいなや法人を説得し、『通えて、泊まれて、住み替えもできる』宅老所＝小規模多機能ホーム『虹』を開設した。

その流れで美瑛町の第 3 期介護保険事業計画（H18～）づくりに副委員長として参画することとなり、以来その時作成された 3 期計画に沿って、10 年あまりの歳月をかけて設定された 4 つの生活圏の全てにサテライト特養や小規模多機能居宅介護を中心とするサポート拠点の整備を行った。

本年度令和 5 年 6 月をもって理事長を退任し、現在は顧問として法人の後方支援を行っている。

北海道・美瑛町を第二のふる里として長らく住民として暮らし、時に食材の調達と称して釣り竿を片手に全道を徘徊する 69 歳。

現　在

- 社会福祉法人美瑛慈光会顧問
- 美瑛町福祉の町づくり会議委員長
- 美瑛町地域支援事業推進会議委員
- 大雪広域連合運営委員
- NPO 法人全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会理事
- NPO 法人北海道の小規模多機能型居宅介護サービスを考える会顧問

６．大会会場へのアクセス

聖カタリナ大学市駅キャンパス

●交通アクセス

所在地	〒790-0022 愛媛県松山市永代町 10 番地 1
最寄駅「松山市駅」から	**伊予鉄道「松山市駅」**下車、南口徒歩 1 分
JR 四国	松山駅－伊予鉄道　松山市駅 「松山駅前」より「松山市駅行き」市内電車「松山市駅」下車 10 分
飛行機	松山空港から松山市駅まで（リムジンバスで約 25 分）
会場に参加者用の駐車場がないため、会場へ来られる際は公共交通機関のご利用をお勧めします。自家用車等で来られる方は近隣のコインパーキング（有料）をご利用ください。	

※最寄駅は「JR 松山駅」ではなく「松山市駅」です

南口を出たところにある交差点を渡ると角にセブンイレブンがあります。そのまま 50ｍほどまっすぐに進んだ左手に会場キャンパスがあります。

聖カタリナ大学松山市駅キャンパス
正門を入ると２棟の建物があります。向かって左側(聖ドミニコ館)の５階が会場です。

四国老人福祉学会第42回大会参加申込書(FAX用)

申し込みフォーム(https://forms.office.com/r/56YeGQdvUF)以外からの申し込みは、本様式を用いて申し込みをしてください。

FAX番号089-993-0900(送付状不要)

四国老人福祉学会第42回大会事務局行

(大会事務局:聖カタリナ大学人間健康福祉学部 **秋山研究室**)

令和6年2月2日(金)までに以下の項目に記入をしてお申込ください。

参加者氏名 (複数名での申し込みの場合は代表者)	
住所	
メールアドレス	
電話番号/FAX番号 (日中連絡の取れる番号)	電話　　/FAX
所属施設・学校等	
会員・非会員等 (該当する項目に☑)	☐会員・学生(参加費無料) ☐法人会員(4名まで無料) ☐非会員(参加費1000円)

●他の参加者と同時申込をされる場合は以下に記入してください

	該当する箇所に○をご記入ください		
参加者氏名	会員・学生	法人会員	非会員

※発表(現場での取り組み・事例発表・研究等)を希望される方

参加申し込みをしたうえで、**2月9日まで**に大会事務局(akiyama@catherine.ac.jp)まで、①件名を「四国老人福祉学会大会発表申込」とし、②本文に「名前と所属」を記載したメールを送信してください。抄録原稿作成要綱を返信メールにてお渡しします)